

## 研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 12月

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 富樫一智

### ■ 研究課題名

潰瘍性大腸炎患者に対する腹部CT検査の診断能を検討するための探索的研究

### ■ 研究期間

2024年12月 ～ 2027年3月

### ■ 研究の目的・意義

CT検査は「低侵襲」・「再現性が高い」・「撮影時間が短い」という特長があり、重症度の高い潰瘍性大腸炎患者の病勢評価に適していると考えられます。CT検査では、粘膜面側から判断できない情報（腸管壁の肥厚・毛羽立ち:spicula、腹水、周囲リンパ節腫大）を評価することが可能であり、潰瘍性大腸炎の新たな病勢評価法として有望と考えられています。しかし、潰瘍性大腸炎の病勢評価法としての腹部CT検査の報告は未だ少なく、その中心的な指標である腸管壁の厚さを定量的に評価した報告はほとんどありません。この研究では、潰瘍性大腸炎患者の病勢評価において、腹部CT検査の意義をについて明らかにすることを目的としています。

### ■ 研究対象となる方

2013年5月から2024年10月までに、会津医療センターでCT検査を受けた潰瘍性大腸炎の患者さんと同期間中にCT検査を受け、大腸に異常がないことを実証された患者さんが対象です。

### ■ 研究の方法

上記対象患者の情報を診療録により調査し、その情報を解析します。収集する情報は、以下の項目となります。

調査項目：年齢、性別、既往歴、内服薬、潰瘍性大腸炎の罹患範囲、臨床的病勢、内視鏡的病勢、血液生化学検査結果（CRP, LRG）、糞便検査（FCP）、CT検査所見（腸管壁の厚さ、毛羽立ち、腹水、リンパ節腫大）、転帰

### ■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年12月1日

## ■ 研究組織

---

この研究の研究事務局は福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座であり、研究責任者は小腸・大腸・肛門科学講座 富樫一智です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座で利用し解析を行います。

## ■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

提供いたしません。

## ■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

### 問い合わせ先

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田2-1-2

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 担当 愛澤正人

電話：0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568

E-mail: Aizawa-m@fmu.ac.jp